

# 兵庫代協

## 新会長に 紀 隆 晋 氏



紀氏

兵庫代協は1962年に関西代協神戸支部が独立し神戸損害保険代理業協会を設立、後に兵庫損害保険代理業協会に改称したことに始まる。新会長の紀氏は第15代目の会長となる。紀氏は日本代協保険大学校1期を修了、これまで兵庫代協の理事や副会長などを務めてきた。

兵庫代協の2009年度末の正会員数は248人、組織率は約20%となっている。一般的に代理店の吸収合併で会員が減る傾向が強いが、最近では会員が保険会社の直営代理店に入るケースや、代協会員同士の合併なども見受けられる。純然たる廃業はさほど多くはない。

兵庫代協では、会員拡大や組織率アップが重要なテーマとなるが、紀氏はその前提として代理店の質の向上を第一に挙げる。3月には会員への意識調査アンケートを実施した。内容は、現在の収保、法人・個人の別、親族を含めた社員構成、社会保険の加入状況、教育体制、内部管理体制、業界展

望など約50項目に及ぶ。匿名で実施され、回答率は54%。集計結果についての分析やコメントは避け、各代理店が数字を見て、今後生き残るために何をなすべきか自問してもらうのが狙いだった。

紀氏は「今までと同じようなやり方では、代理店は淘汰(とうた)されていく。募集人個々のレベルと代理店の品質の向上を図るとともに、自らの意識と行動を変革させることが大切だ。代協が職

業団体であることを掲げるためには、組織率のアップとともに日本代協の倫理綱領を理解し募集規範を実践する代理店の集合体であることが必要だ」と強調する。

紀氏は「何もしなげれば、毎年6%見当で会員は減っていく」と指摘する。兵庫代協の活動では、役員オリエンテーションを重要な課題に位置付け、他代協から講師を呼んで役員同士が学ぶ場を設けていく必要があると考えている。

### 会員への調査で意識改革狙う

収益事業については、現在、4事業を推進している。その一つは兵庫代協推奨提携修理工場制度。業者選定から独自の資格要件を設けて合格した工場を認定しており、現在14社と提携している。リサイクルパーツ

捨てられる車の部品をパーツ業者に納入する提携事業を行っている。紀氏は「現在はIT技術が進み、保険販売チャネルも多数出てきている。ほかのチャネルにどうすれば対抗できるのかを、絶えず勉強していかなければならない。昔はよかった、では生きてはいけない。われわれは皆、顧客のために代理業に対する責任がある。責任を感じているからこそ事業を続け、生き残ることを考えなければならぬ」と強調する。

同代協では、まず第1段階で組織率22・5%を目指す。代理店が減少傾向にある中、約40店の新規加入でこの数字をクリアする。紀氏は、これまで副会長として法人化など代協内の整備に追われていたが、内部の体制もほぼ固まってきたことから、今後は「代協活動の原点への回帰」をテーマに、支部例会やセミナー開催などを強化し、代協本来の目的達成を重点目標に活動を展開していく考えだ。